



# 副校長のつぶやき

令和5年8月25日発行 No.8

秋田大学教育文化学部附属中学校 副校長 石井 学

## 節目の時期が近づいてきました！！

### □どんな夏休みを過ごしましたか？

33日間という夏休みが、あっという間に終わってしまいました(終わりましたではなく、終わってしまいましたと書いた私の気持ちを察してください)。楽しいことはあっという間に過ぎるといいますが、本当にそのとおりと実感しています。夏休みを最初からやり直したいと思っているのは、私だけでしょうか。毎年、夏休み後に反省ばかりしていますが、いつものことだと思ってしまう自分がいます。このような大人にはならないようにしてほしいです。

今年の夏休みは記録的な猛暑が続き、8月下旬にもかかわらず、毎日のように熱中症の危険性が極めて高い気象状況が続いています。私たちにとっては、経験したことのないような連日の暑さとの戦いの日々でした。みなさんにとって今年の夏休みはどうでしたか。「楽しみにしていたこと」や「やってみたかったこと」にチャレンジすることはできましたか。

夏休み明け初日の登校日。笑顔でさわやかに挨拶をする附中生の姿。暑さに負けず、頑張ろうという気持ちが十分に伝わってきました。今日から再び学校生活がスタートします。みなさんが夏休み中に体験して感じたことや思ったことなど、仲間や先生方にたくさん伝えてほしいと思います。

みなさんの日々の活動が充実したものになるよう、私たち職員もワクワクしながらこれからも共に頑張っていきます。

### □節目の時期を大切に

夏休みが明け、一学期も残すところ1か月となりました。10月2日からは、二学期が始まります。人間の人生には大切な「節目」がいくつもあります。「節目」とは、「物事における区切りとなる大切なところ」を意味する言葉です。元々は樹木が生長するときに行われる「節」を意味していたところから、意味が転じて、「区切りとなる大切なところ」を例える言葉としても使われています。

「節」がある植物といえば、真っ先に竹を思い浮かべるのではないのでしょうか。竹は、雨や風、周囲の環境にも強く、とてもしなやかな植物です。みなさんも竹林の竹に触れたことがあると思いますが、手で強く曲げても折れず、離すと勢いよくもとに戻ります。竹の節には成長点があり、それぞれの成長点が伸び、節と節との間を広げることで、竹は高く生長します。人間も同じで、強くしなやかに生きていくには、この節目をどう生かして、自分を成長させていくかが大切です。附中生一人一人がしっかりとした丈夫な節を作り、理想とする自分を作り上げるよう、日々の生活を大切に送ってほしいです。

以前、何かを調べていたときに、次のような文を目にしました。私自身、「そうかもしれない」と感じた文章でしたので紹介します。

節目に辿り着いたときに一息ついて、過去の節目を振り返り、「よし！」と気合いを入れてまた歩みを進める。その積み重ねが、心豊かな人生を送る秘訣なのかもしれません。